

【同志社中 わくわく理科】京の奥座敷・・・



# 鞍馬山・貴船の地質を巡る

～3億年前は海底火山だった!～

《実施日：2015年3月20日、参加者17名》



今回の「わくわく理科」は、本校のある岩倉から北に位置する「鞍馬」～「貴船」の地質を中心とした自然観察教室でした。

前日の雨から一転しての晴天。時々雲はでたものの、初春の京都北山の自然を満喫しました。溪流では野鳥のミソサザイが見事な音色でさえずり、シダ植物マメツタの繁茂する近くでは、早春のネコノメソウが春の訪れを知らせていました（次ページ写真）。

地質の学びでは、鞍馬山がどのようにしてできたか、どのような地質構造なのか、また魔王殿の石灰岩地形や含まれるフスリナやウミウリの化石観察、貴船神社そばにある「つつみヶ岩」（枕状溶岩）の海底でのでき方などを目の前の実物の岩石を観察しながら学びました。

京都北山に刻まれた、古生代のペルム紀～中生代の三畳紀・ジュラ紀の地質と構造発達史をしっかり学べて、周囲の山を中心とした自然の見方がひと味もふた味も変わった一日でした。

《自然・地質案内人：なべやん》



(左上) 叡山電車車窓より  
(上) だんだん鞍馬駅に接近…  
気持ちが高ぶります!  
(左) 鞍馬駅前のテング前で  
記念写真  
(参加証抛写真)  
(右) 今回のルートで1番気に  
いった場所。とても爽やか!





(上) 魔王殿の景観。ペルム紀石灰岩の巨石が並ぶ。独特の風化(溶食)で秋吉台のようです。

(右上) 地元では「肉石」とも呼ばれる赤色塊状チャート。角礫状のチャートと白い脈石英が見事。海底の熱水温泉沈殿物。

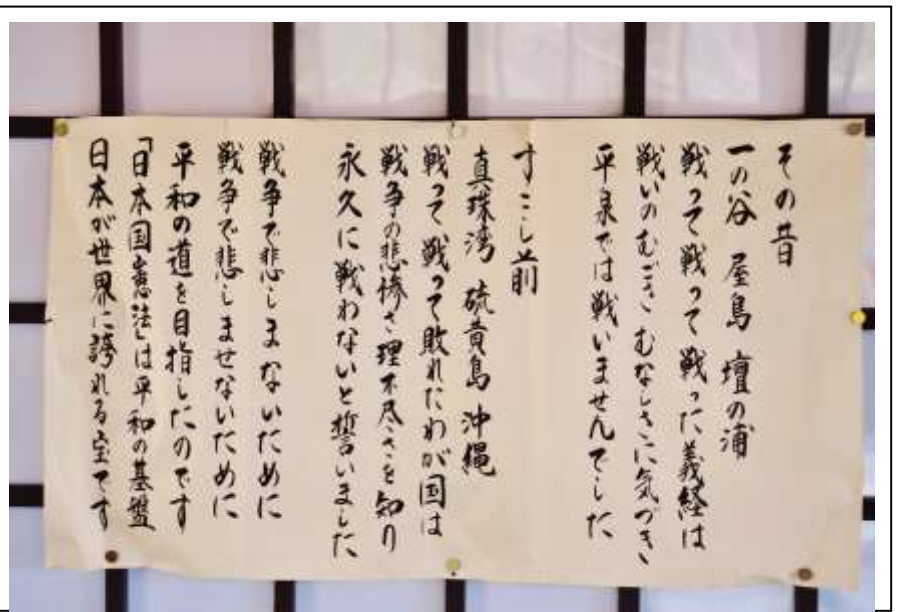
(右) 鞍馬寺の鞍馬石。石英閃緑岩。手前は玉葱状風化の芯。「テングの卵」ともいう。

(左上) 随所に解説板もある、丁寧な自然観察路。鞍馬寺の方の優しさに頭が下がります。

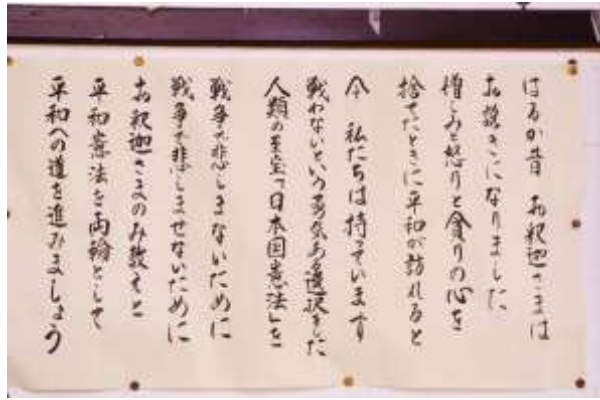
(左) 早春の草花。ネコノメソウ

(左下) シダ植物のマメヅタ

鞍馬寺を参詣していつも心を打たれるのは、下のような「不戦の誓い」「平和の尊さ」などが記された文章が掲げられていることです。それも“鞍馬寺からの発信”という意味合いが込められた文章です。今回も「日本国憲法は平和の基盤、日本が世界に誇れる宝です」と記されていました。憲法の大切さを再確認したひとときでした。







由岐神社の大杉。樹高 53m, 樹齢 800 年。  
圧倒されるような迫力がある。



つつみヶ岩  
枕を積み重ねた枕状溶岩。  
(下)指先に火山ガスが抜けた跡がある。



貴船川のそばで昼食をとったあとは、「滝谷峠」までの急登をがんばって登りました。途中ペルム紀の特徴的な赤色泥岩や石灰岩などを観察しながら、「二ノ瀬ユリ」を経て叡山電車「二ノ瀬」駅まで歩きました。地形図での現在地確認もなかなかおもしろかったです。



《今回の学習内容》 (項目のみ)

- ・鞍馬・貴船の自然→ミソサザイ、ミコノメソウ、マメヅタ、由岐神社の大杉、木の根道、畚おろし
- ・鞍馬・貴船の地質関係→丹波帯Ⅱ型地層群の特徴、緑色岩・層状チャート・塊状チャート・石灰岩の産状。魔王殿の石灰岩景観、ウミユリ・フズリナの観察。鞍馬石の風化とテングの卵、つつみヶ岩と海底から噴出する玄武岩質溶岩からなる枕状溶岩、周辺急冷層 (チルドマージン)、火山ガスの発泡。
- ・その他→1/25000 地形図による現在地確認作業、貴船の料亭がねらう玄関のデザイン、日本国憲法と平和